

授業科目	子どもの健康と安全				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21611J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-2 DP3-2 DP5-2			
担当教員	田中 沙織							
授業概要	保育において、子どもの健康及び安全の確保は、子どもの生命の保持と健やかな生活の基本である。子どもが、自らの体や健康に関心を持ち、心身の機能を高めていくための、衛生管理、事故防止、安全対策のほか、救急処置、感染症の予防など保健的対応の基本について解説する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解し、保育における衛生管理、事故防止、危機管理、災害対策について具体的技術を獲得する。</li> <li>2. 保育における感染症対策について理解し、子どもの体調不良等に対する適切な対応について具体的に学ぶ。</li> <li>3. 子どもの発達や状態に即した適切な対応について理解した上で、子どもの健康や安全の管理に関する実施体制や保健活動の計画及び評価について学ぶ。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	0	70	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	0						0	
知識・理解 (DP1-2)	0	0	0	0	20		20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			0		0		0	
思考・判断 (DP2-2)	0		20		10		30	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	0		10		10		20	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				0	0		0	
技能・表現 (DP5-2)	0			0	30		30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健康及び、安全に係る保健活動の具体的計画を立てることができ、それに応じた評価を考えることができる</li> <li>・子どもの健康増進、身心の発育を促すため、救急時の対応や事故防止、疾病への適切な対応と予防、安全管理について具体的に学び実践できる</li> <li>・現代社会における心の問題や、地域保健活動を理解し連携のとり方を考えることができる</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健康及び、安全に係る保健活動の計画や評価を考えることができる</li> <li>・子どもの健康増進、身心の発育を促すため、救急時の対応や事故防止、疾病への適切な対応と予防、安全管理について理解する</li> <li>・現代社会における心の問題や、地域保健活動を理解し連携について知る</li> </ul>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション・子どもの健康と保育環境(田中沙織) 生活しやすい園内環境について、物的・人的環境から考える	講義	予習:該当部分の予習(30分) 復習:1年次の子どもの保健で学習した内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(60分)	90
2	テーマ:子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康(田中沙織) 保育における健康管理の意義と健康観察の観点について学習する。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
3	テーマ:衛生管理1(田中沙織) 望ましい衛生環境と職員の衛生管理について解説する。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
4	テーマ:衛生管理2(田中沙織) 口腔内の衛生を学び、歯磨きの支援について園主を行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
5	テーマ:体調不良や傷害が発生した場合の対応(田中沙織) バイタルサインの測定と応急処置の実施の演習を行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
6	テーマ:救急処置及び救急蘇生法(田中沙織) 子どもの事故とけがについて解説し、事故発生時の対応の演習を行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
7	テーマ:乳児の清潔と衛生(田中沙織) 乳児の清潔の方法について学び実践する。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
8	テーマ:感染症の集団発生と予防、対応(田中沙織) 感染症の基礎知識を学び、嘔吐物の処理法を実践する。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
9	テーマ:保育における保健的対応(田中沙織) 保育士に求められる保健的対応について概観し、保育所で与える薬とその方法について学ぶ。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
10	テーマ:3歳未満児への適切な対応(田中沙織) 3歳未満児の発達特徴と保育士に求められる技術について解説する。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90

11	テーマ:子どもの食事と栄養(田中沙織) 発達に応じた栄養と食事場面における支援方法について解説し、演習を行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
12	テーマ:個別的な配慮を必要とする子どもへの対応(田中沙織) 個別的な配慮を必要とする疾患、アレルギー疾患を持つ子供への配慮・対応について解説し、発達障害のある子どもたちの手助けの方法について演習を行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
13	テーマ:職員間の連携・子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携(田中沙織) 児童相談所の役割や医療的ケアを必要とする子どもについて職員間・家庭・専門機関・地域との連携について考える。	講義・演習	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
14	テーマ:乳児の遊びと指導計画(田中沙織) 乳児の生活について学んだことを生かし計画を立てて発表する	講義 発表	予習:該当部分の予習(30分) 復習:教科書の内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(90分)	90
15	テーマ:乳児保育のニーズと課題(田中沙織) 乳児保育のニーズと課題についてディスカッションを行う 保健技術の確認とまとめのレポートを実施する。	講義 発表 確認レポート	予習:これまでの授業の復習 復習:授業内容ごとにノートとプリントを整理する	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	前年度後期に学習した「子どもの保健」についても一度復習し、理解を深めておく。
テキスト	授業で現場で役に立つ! 子どもの健康と安全 演習ノート 診断と治療社; 第2版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内容に応じて資料を配布する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	教科書や専門書以外にも、身近な私たちの生活の中に、この授業内容を理解するヒントがあふれています。授業内容に対し、疑問や意見を持つことで生活の中でアンテナを広げ、そこで得た情報を、授業の中で表現することで学習内容はさらに深まります。 本授業は演習を多く行うため、欠席した際には授業内容や必要な資料について自主的に尋ねること。また演習の際には動きやすい服装や髪形に留意して参加すること。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	レポート 30%、各授業の提出物や課題 70%として配点する。 レポートについては、設問の要求に応じた回答と独自性のある考察が含まれていれば満点とし、適宜減点を行う。 授業の提出物や課題については、求められているスペースに 3/4 回答し授業内容を反映した考察が行われていることを満点の基準とする。